

事業名 在勤者を活用した NPO 支援強化を目指す都心型協働社会システムモデル事業

評価項目

No	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200 字以上～300 字以内</u> で簡潔にまとめて記載してください。	自己採点
1	成果目標	検討委員会で協議する中で、企業担当者向けセミナーは、経営者層も対象とした発展性のあるセミナーを実施した。東京商工会議所等の連携を活用して、新たな層を開拓することが出来た。在勤者ネットワークのスキル・ノウハウのメニュー化、NPO 法人が必要としているメニュー化については、モデル事業の実施へ向けて、ヒアリングを行いニーズの把握をした。すぐにマッチングにつなげることは、お互いを知らない中では難しいので、今後に向けた体制づくりを行うために必要なスタートガイドを作成したことで、これから実施しようとする企業・NPO 法人に必要なより相談対応の仕組みづくりにつながった。	3
2	市民性	区内に事務所を有する NPO 法人に対して、これまで地域貢献性を計るニーズ調査を実施できていなかったが、今後に向けた体制づくりを進めていることの周知は十分達成できた。NPO 法人のニーズアンケート：約 700 団体に送付（10%回収）、プロボノという言葉の認知は無くても、専門性を持ったボランティアの活躍の場の可能性が有ることが分かった。セミナー：各 50 名程の参加。このテーマに関する企画が開催されていなかったため、繋がりたいと思っても何から始めて良いのか分からず、連携をする上で貴重な情報を得ることが出来た、と好評だった。	4
3	波及効果	今回は、企業・NPO 法人のニーズを把握するヒアリングを重点的に行った。それにより、これから始めるためのポイントをスタートガイドとしてまとめたことで、今後は意欲ある企業・NPO 法人へ積極的にアプローチを行い、区内の連携促進の実施する段階まで進んだ。ある程度ノウハウが構築できた段階で、他の自治体・NPO 等からの相談にも参考になるような情報も提供し、類似の悩みを抱えている自治体にも貢献したいと思っている。今回は、同様の事業を実施していた杉並区の協議会担当者と数回意見交換を行った。地域性を生かした企業の地域貢献を考えるため、今後も類似の事業を進めている担当者とは意見交換を行い、改善に努めていきたい。	3
4	継続性	協議会のメンバーと意見交換を重ねて行きながら、企業と NPO の連携が進むよう、セミナーの開催を行ったことで、今までのアプローチでは届かなかった潜在層が発掘できた。今後は、区内の協働推進施設である「協働ステーション中央」を中心として実施することで、協働ス	5

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

		<p>テーション中央のサービスの幅も広げることでも実現出来て、区への貢献はとても高いものと思われる。今後は、スタートガイドを参考に、企業・NPO 法人等からの相談や、交流が出来る機会を進めることで、区内のボランティア団体、町会・自治会等の地縁組織への協働推進にもつながるような、幅を広げたサービス展開が出来る。</p>	
5	<p>マルチステークホルダー・プロセス</p>	<p>区内に企業が 44,000 社以上あると言われながら、これまで行政から地域貢献のテーマに絞った企業担当者向けのセミナー等は開催が難しかった。区やNPO 法人単体だけではない視点からのアドバイスを盛り込んだニーズ調査、セミナーの実施等により、これまで繋がりの無かった層へアプローチが実現した。この協議会のメンバーの相互の強みを生かして、企業に向けてのセミナー・ヒアリング等により、今後の連携に必要な仕組みの土台を構築することが出来た。</p>	5

合計点

20

ランク

A